会　議　録

会議の名称		令和８年度第２回秀峰筑波義務教育学校 コミュニティ・スクール協議会
開催日時		令和８年 10 月２日（金）開会 13:30　閉会 15:45
開催場所		つくば市立秀峰筑波義務教育学校会議室
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課
出席者	委員	土子 光之　山口 里香　飯村 仁　白石 通　古平 恒雄 大里 庄受　松島 寿樹　矢島 祐介　遠藤 知昭 秀峰筑波義務教育学校 校長　大久保 悦郎　副校長　木村 晃 教頭　佐藤 尚子　宮内 周也 教務主任　依田 振　佐々木 美由紀
	その他	小山 勇気
	事務局	生涯学習推進課　参事　山口 健次 課長補佐　瓜阪 恵理名 社会教育主事　柴崎 英二 社会教育係長　岩田 真樹子 主任　三村 明日香
公開・非公開の別		□公開　□非公開　☑一部公開
傍聴者数		０人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第５条第１号（個人情報）に該当する情報が含まれるため
議題		「ゲストティーチャーの募集並びに地域活動への協力」
会議録署名人		
確定年月日		令和　年　月　日
会議次第		１　開会 ２　前回議事の確認 ３　授業参観 ４　協議 (1) ６月からの教育活動について (2) 熟議「ゲストティーチャーの募集並びに地域活動への協力」

	(3)諸連絡 ・第３回秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会について ・その他 ５　閉会

＜審議内容＞

１　開会

本日の会議は公開となる。市のホームページでも公開される。

２　挨拶

(1)大久保委員

・５学年宿泊学習の成果、新人戦での活躍、エアコン工事の開始等

※古平会長は、所用のために遅れて参加(挨拶なし)

３　授業参観（1 学年→９学年）

４　協議（古平会長）

(1) ６月からの教育活動について（佐々木委員）

・田植え（５年生）

・市総体～県南大会～県大会での活躍（主に９年生）

・職場体験学習（８年生）

(2)熟議「ゲストティーチャーの募集並びに地域活動への協力」

〇木村委員

・最初に「学校支援ボランティアの募集並びに登録について」を説明

・地域に案内文章を配付（回覧板と一緒に各区長に依頼する）

・人材バンクを作成し、各学年のニーズに則って人材を依頼
（令和９年度からスタート）

・地域には、優秀な人材がたくさんいるので教育活動に御協力していただきたい。

・現在ボランティアで登録している方は、退職校長会、読み聞かせボランティア、登校ボランティアなど

〇株式会社エンボス企画：小山様

・つくば市ジュニアスポーツ芸術文化活動について、部活動のクラブ化を、関彰商事、エンボス企画、つくばFC の３者で音頭を取り進めていく。

・指導者として、資格を取って指導に当たれるよう支援をしていく。

・平日は部活動で、土日の活動を地域の活動にしていく。

・一律、受益者負担で会費をいただく。種目ごとの特性に合わせて、会費が必要であれば徴収していく。

・４月からスタートできるように取り組んでいる。
・北部エリアは、移動が課題である。（つくタクなど既存のものを使う）
・スポーツ活動だけでなく、文化活動もやっていく。

○山口委員
・クラブになったときに、どのくらいの生徒が会費を払って参加するのか。

○小山様
・みどりの義務教育学校のケースでいくと、部活加入者 70%のうちクラブ加入者約は約 50%である。

○松島委員
・会費は指導者の人件費にあてているのか。

○小山様
・その認識で正しい。

○白石委員
・合同チームなど、大会参加はどうなるのか。

○小山様
・単独で出場できるチームはそれで継続していただく。１校で参加できればよいが、できなければ複数学校でチームを作る。練習は合同や個別など様々なケースがある。

○木村委員
・ボランティア募集の文書は回覧ではなく、予算を使って印刷した文書を全家庭に配付する。
・ＱＲコードからボランティアに登録していただく。集まらない可能性もあるので、御支援と御助言をいただきたい。

○山口委員
・募集締め切りを設けない方がよいのではないか。

○木村委員
・あくまでも把握するために区切っているのであって、募集は随時受け付けていく。

○山口委員
・３月の区の総会で文書を配布するのはどうか。

○遠藤委員
・日程を決めて、募集をかけると参加しやすい。

○矢島委員
・ボランティアの分野を複数選べるとよい。

○白石委員

・曜日、時間など日程を決めていかないと、参加しにくい。

〇矢島委員

・文書の文字情報だけでなく、イメージ画像があるとよい（イメージしやすく意欲が高まる）。

〇大久保委員

・回覧板で文書を各家庭に配布しようとすれば1,000枚以上は必要ではないか。（用紙代は予算から支払える）

〇松島委員

・ゲストティーチャーの募集が明確でないので、もっと具体的にした方がよい。

〇佐藤委員

・スクリレで詳しい内容を登録者に送り、来校してもらってはどうか。

〇松島委員

・様々なお店や交流センターにチラシを張り、ＰＲするのはどうか。

〇白石委員

・流れができるまでは、アナログでやることも必要である。
・文書の印刷は業者の方が安い。文書は回覧しておくだけでも効果はある。関係者で声掛けして人材確保していくことが現実的である。

〇矢島委員

・サポーターとして登録してもらってから、各種のボランティアとしてまとまっていくのはどうか。

〇遠藤委員

・誰がどんなボランティアを行うのかなど、最初は決めないで、集まった人材から誰がどのボランティアを行うかなどを決めていくとよい。

〇大久保委員

・立ち上げは学校でやっていく必要がある。

〇松島委員

・その後は、先生方の負担を減らすために自走する集団にしていく必要がある。先生方が先頭に立って引っ張っていくのでは趣旨から外れてしまう(地域が引っ張っていくことが望ましい)。

〇小山様

・地域ごとに会社を立ち上げているので協力することができる。上手く使っていただければありがたい。

(3)その他

・第３回令和９年２月19日（金）13：30～

５　閉会

令和８年度第２回秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会

日時：令和８年　10月２日（火）１３：３０～

場所：秀峰筑波義務教育学校　会議室

次　第

１　開　会

２　前回議事の確認

３　授業参観

４　協　議

(1) ６月からの教育活動について

(2) 熟議　　「ゲストティーチャーの募集並びに地域活動への協力」

(3) 諸連絡

・第３回秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会について

日時　令和９年２月 19 日(金)　15 時から

・その他

５　閉　会